

理科シラバス 高校3年

1. 学習の到達目標と評価の観点

(科目) 物理演習	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
	3 単位	第 3 学年	教科書：高等学校物理（啓林館） 問題集：セミナー物理基礎＋物理（第一学習社）
学習の到達目標	大学入試に向け、入試問題演習を積み、応用的な力を身につける。		
評価の観点	科学的事実がどのような仕組みで関わりあっているのか、疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞		
	科学的法則や事象について理解を深めるべく、実証したり、それぞれの法則性や事象を比べたり、もしくは互いのつながりや影響を探究したり、自分の考えを発信したりすることができる。＜思考力・判断力・表現力＞		
	科学的事象や、実験もしくは観察結果について考察をする際、その資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞		

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

- A：「十分満足できる」状況と判断されるもの
 B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
 C：「努力を要する」状況と判断されるもの
 D：未提出，未実施

2. 学習内容及び評価方法

月	単 元	学習のねらい	実験実習・学習のポイント
一 学 期 中 間	総合演習（力学分野）	大学入学共通テストや個別試験の問題演習を通して既習事項を復習し、考察・表現する力を身につける。	・ 毎時間プリントを配布し、まずは個人で取り組み、その後班ごとに話し合い解法を考える。
一 学 期 期 末	総合演習（力学分野、熱分野）	大学入学共通テストや個別試験の問題演習を通して既習事項を復習し、考察・表現する力を身につける。	・ 毎時間プリントを配布し、まずは個人で取り組み、その後班ごとに話し合い解法を考える。

二 学 期 中 間	総合演習（波動分野・電磁気分野）	大学入学共通テストや個別試験の問題演習を通して既習事項を復習し、考察・表現する力を身につける。	・毎時間プリントを配布し、まずは個人で取り組み、その後班ごとに話し合い解法を考える。
二 学 期 期 末	総合演習（全分野）	大学入学共通テストや個別試験の問題演習を通して既習事項を復習し、考察・表現する力を身につける。	・毎時間プリントを配布し、まずは個人で取り組み、その後班ごとに話し合い解法を考える。
評価の観点及び内容			評価方法（具体例）
科学的事実がどのような仕組みで関わりあっているのか、疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞			授業内問題
科学的法則や事象について理解を深めるべく、実証したり、それぞれの法則性や事象を比べたり、もしくは互いのつながりや影響を探究したり、自分の考えを発信したりすることができる。＜思考力・判断力・表現力＞			授業内考査、授業内問題
科学的事象や、実験もしくは観察結果について考察をする際、その資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞			授業内考査